

村松柳江 むらまつ りゅうけい 小説家、新聞記者、政治家。元治元年四月伊豫國生れ、昭和十五年六月五日歿（二六四—一九四）。本名恒一郎。筆名寸木、流行寸、笹の家主人。同志社に學び、可東京朝日新聞記者となる。のち大東通信社社長、東京市會議員、愛媛縣會議員等を経て、昭和二年衆議院議員。詩人村松止後、隨筆家村松嘉津の父。

著書『福島中佐之傳—附遠征紀行』（本名、明治二十八年五月十一日青木嵩山堂）、可相馬内裡妖麗東帶』（笹の家主人名、明治二十六年八月十一日自刊、扶桑堂發賣）、可雲の花園』（明治二十九年二月一日青木嵩山堂）、可講演速記録・第九輯』（本名、阪井重孝合著、大正四年二月維新史料編纂會）、可新聞記者村松け話』（同、合著、大阪朝日新聞社整理部編、昭和二年四月十七日世界社）等。